

## 平成30年度がスタート

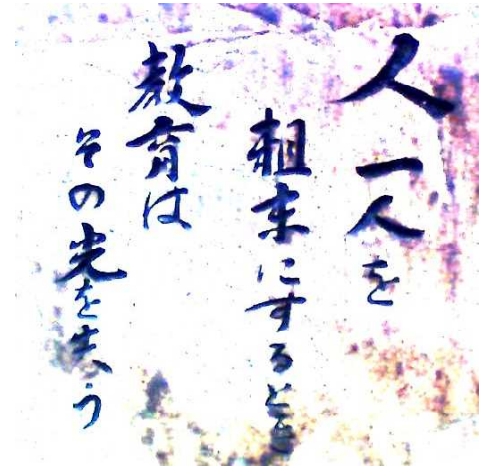
いよいよ平成30年度がスタートしました。文書でお知らせした通り、本年度は7名の者が新しく本校で勤務することになりました。不慣れでご迷惑をおかけする面もあるかと思いますが、全員やる気に燃えております。子どもたちが日々生き生きと笑顔で生活でき、しっかり学習に取り組める学校を目指して、学校職員が一丸となり努力していく所存ですので、どうかご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

## 一人一人を粗末にするとき 教育はその光を失う

毎年紹介している言葉です。この言葉を思い起こす度、自分に迫ってくるような迫力を感じます。凜と背筋を伸ばし、精進せねばという思いが湧くと共に、自分自身の力不足、自信のなさを噛みしめ、教育に対する大きな責任に身震いを覚える感覚もあります。

この言葉は『人』一人一人を大事にすることが教育であると示しています。『人』にはもちろん第一に『子ども』が入っていると思います。そして、保護者や地域の方々一人一人もです。それから私達学校の職員も入っています。その上、『人』とは他者だけでなく自分自身も入っています。『一人一人を粗末にしないこと、大事にすること』とは、子ども達の成長を願って関わる人々が、誠心誠意、一生懸命に生きていくことなのだろうと思います。

江津東小学校の職員は、教育に携わる者として、誠実に自分を偽らず、子どもに向き合っていくことが求められると思います。子ども達のより良い成長を願いながら、自分の感性を大切に、自信と敬意を持って教育活動に取り組んでいくことが最も重要と考えています。昨年度までの2年間は、文部科学省と県の指定を受け、人権・同和教育の研究に取り組んできました。指定は終わりましたが、人権・同和教育や人権感覚の重要性は変わりません。これからも学校経営の基底に据えて取り組んでいく所存です。今年度は昨年度重視してきた『感謝・尊敬』に『寛容』の精神を加え、教育活動に当たっていきたいと思います。子どもたちが『ひとにやさしくできる子・がんばって学ぶ子・しんが強くたくましい子』に育つよう、職員一同、より良い教育をめざして自己研鑽に励み、充実した教育活動を展開していきたいと思ひます。



## 始業式で話した内容

先ほど、新しい先生方をお迎えし、いよいよ平成30年度がスタートしました。江津東小学校の子どもたちは、素直で明るく、人に優しく接することのできる本当にいい子どもたちだと思います。そして、何事にも一生懸命取り組んで、やるべき時にしっかり力を発揮できる子どもたちだとも思います。今年度も6年生を中心に、みんなで力を合わせて、江津東小学校をもっともっといい学校にしていってください。今年度も素晴らしい先生方が揃いました。皆さん期待してください。

さて、今から出会いの時です。人生は出会いでできています。出会いは人生においてとても大切です。いい出会いにできるようみんなでこれからの時間を大切にしていきたいでしょう。この世は鏡です。いい出会いにできるかどうかは、自分にかかっていますよ。

では、今年度、皆さんのお世話をし頂く先生方を紹介します。これから紹介する先

先生方は、一年間全力で皆さんと向き合い、出会い続けてくださいます。特に担任の先生とは、一番深く出会い続けることになるでしょう。決して気持ちいいことばかりではなく、時には叱られて嫌な気持ちになることもあるでしょう。しかし、先生方は本気で皆さんのことを思っているからこそ、叱ることもされるのです。どうかそのことを信じ、素直な気持ちで、皆さんも本気で日々出会い、成長していきましょう。



着任式での児童代表による歓迎の言葉

#### 担任等発表

学級等	氏名	学級等	氏名
1年生	小林 菜美子 先生	6年生	福間 雅基 先生
2年生	山崎 章枝 先生	たんぽぽ	森山 真梨子 先生
3年生	柿田 康利 先生	わかば	井上 章江 先生
4年生	木村 真美恵 先生	専科	渡利 哲也 先生
5年生	崎間 真理子 先生	児童支援	都野 朋子 先生

今年度のめあてです。これまでずっと言ってきましたが、感謝できる人、人を尊敬できる人になってください。そしてもう一つ加えます。寛容な人になってください。それは人を赦せる人になるということです。「どうぞ」と自分が少し我慢して、相手に譲ってあげる力も入ります。心が強くなければできません。そのためには「感謝の種探し」が上手にならなければいけません。原因探し、犯人探しをしている間は、不平不満ばかりたまり、とても人を赦す気持ちにはなれません。自分で自分の心を切り替えて、感謝の種を見つけて幸せになってください。幸せになれば人を赦せるし、いじめなんかできなくなります。自分だけを特別とは考えず、「みんなそれぞれに、様々な悩みを抱えながら一生懸命がんばっているんだ」と捉え、優しい目で周りを見られるようになると、幸せになってきます。幸せになるのは「人生の主人公」である自分の力なのです。「被害者の道」を歩かないように気をつけていきましょう。『過ちは誰でもする。過ちは人間を決めない。過ちの後が人間を決める』という言葉があります。過ちは誰でもするのです。過ちの後、どうするかが問題なのです。失敗したときには謝り合い、赦し合うことが大事なのです。皆さんならできるはずです。皆さんなら大丈夫と思って、育てたい心に付け加えました。今日から意識してくれるとうれしいです。

最後にお願ひがあります。それは名前呼び方です。これはとても大切です。友達の名前を呼ぶときは、呼び捨てなどはしないでください。どう呼んだら相手を、友達を大事にできるのか、よく考えてください。よりよい出会いを作っていくためにはどうすればいいのか、クラスでも考えてみてください。それから「あいさつ、返事、くつそろえ」もしっかりがんばってください。これは自分をよりよく成長させるために大切なことです。特に高学年の人は、下学年の手本になるようにがんばって、江津東小学校をもっともっといい学校にしていけるよう、全体を引っ張って行ってほしいと思います。そして、全校のみんなで仲良く力を合わせ、3学期の終わりには感謝の気持ちがたくさん溢れるような素晴らしい一年にいきましょう。

## 入学式

4月10日（火）に入学式を行いました。15名の新入生は、立派に入学しました。少し時間がかかるとは思いますが、早く学校に慣れて、元気一杯に明るく楽しい学校生活を送れるようになってほしいと願っています。1年生を全校で見守りながら、よりよい教育をめざして頑張っていきたいと思ひます。

入学式では式辞（抜粋）で次のような内容を話しました。

江津東小学校では「人に優しくできる子」「がんばって学ぶ子」「芯が強くてたくましい子」を目指しています。最初の字をとると「ひがし」、東っ子の「東」になります。覚えてくださいね。そんなすてきな東っ子になるために、皆さんに、四つお願いをします。



一つ目は、「あいさつ」です。朝起きたら「おはようございます」、学校に登校したときも「おはようございます」、帰る時には「さようなら」、家に帰ったら「ただいま」「帰りました」、このあいさつをきちんとやってください。「返事」も「うん」ではなくて「はい」と大きな声でしましょう。これは、人と人との心をつなぐ「魔法のことば」です。毎日、必ず続けて下さい。

二つ目は「くつそろえ」です。これは「はじめ」の心を育てます。とても大切な心です。学校の玄関に入ったら、「ここからは遊ぶんじゃないぞ。勉強するんだ」という気持ちになって下さい。

三つ目は「ありがとう」の気持ちです。これから、一年生が江津東小学校に早く慣れて、楽しい生活を送ることができるよう、家族の人たち、学校のみんな、地域の方々が一生涯懸命助けてくれます。これは当たり前ではありません。ありがたいことなのです。「ありがとう」という気持ちを忘れないでください。できれば言葉にしてお礼を言えるといいですね。

最後に名前の呼び方です。これはとても大切です。友達の名前を呼ぶときは、呼び捨てなどはしないでください。きちんとさん付けで呼んでください。友達を大事にして仲良く楽しい学校生活を送ってください。



児童代表による歓迎の言葉

これから学校の生活が始まりますが、「あいさつ・返事・くつそろえ」を行い、「ありがとう」の気持ちを忘れず、友達を大切に、何事にも一生懸命取り組んで下さい。

学級	男子(名)	女子(名)	合計(名)	学級	男子(名)	女子(名)	合計(名)
1年生	9	5	14	5年生	10	6	16
2年生	4	9	13	6年生	8	13	21
3年生	8	8	16	たんぼぼ	2(3・4年)	0	2
4年生	9	5	14	わかば	1(1年)	1(5年)	2
				合計(名)	51	47	98

新1年生を迎えて、全校児童の人数は上の表のようになりました。今年度は全校児童数が100名を切りました。江津東小学校開校後、初めてのことだと思います。児童数が減るのは寂しい気がしますが、メリットも多くあります。よりきめ細やかな教育が可能になることや、一人一人の児童の存在感が高まり、活躍する場が多くなることなどは、教育上のプラスとなります。少人数による人間関係の固定化という懸念はありますが、これは固定化をマイナスに捉えた場合であり、良い意味・良い形の固定化（家族・スポーツチームなどはその最たるものでしょう）は、支え合いや学び合いの効果を高め、集団全体で伸びていくことを可能とします。児童自らが自己理解を深め、自分の適性を知り、自尊感情を高めることで、それぞれが違いを認め合い、支え合える関係ができてきます。そのような

固定化は、個々が生き生きと過ごすための集団づくりにおいて、大きなプラスとなります。江東中学校との連携を深めながら、それぞれのクラスが、単なる同年齢児童の集合ではなく、望ましい集団・チームとして育っていけるよう、職員一丸となり、頑張っていきたいと思っておりますので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

## 教職員組織

本年度の教職員についてお知らせします。新鮮な気持ちで一生懸命がんばっていこうと思っております。

校 長	安食 徹 (3年目)	教 頭	星野 明洋 (1年目)
教 諭	渡利 哲也 (2年目)	教 諭	都野 朋子 (5年目)
教 諭	山崎 章枝 (3年目)	教 諭	井上 章江 (2年目)
教 諭	崎間 真理子 (1年目)	教 諭	福間 雅基 (1年目)
教 諭	森山 真梨子 (3年目)	教 諭	小林 菜美子 (3年目)
教 諭	柿田 康利 (1年目)	講 師	木村 真美恵 (2年目)
養護教諭	山崎 智子 (4年目)	主 任	長本 司 (1年目)
用 務 員	兒玉 知子 (5年目)	非常勤講師	大源 ゆかり (10年目)
非常勤講師	押越 さやか (1年目)	非常勤講師	河岸 律子 (1年目)
学校司書	牛尾 清美 (10年目)		

## お願い

子どもたちはこれからどんどん学校や新学年としての立場に慣れ、日を迫う毎に成長し、活発になっていくことと思っております。反面、事故は解放感が高まり、緊張感が緩む時期（ゴールデン・ウィークや夏休みに入った頃）に急増する傾向にあります。学校としても児童の安全確保のため、タイミングを見計らいながら、安全指導を継続していきたいと思っております。ご家庭におかれましても、折を見て、安全な過ごし方について、声かけや意識付けをして頂きますよう、よろしくお願いいたします。

また、児童クラブ利用者の車でのお迎えの際、すこやか広場の児童がスクールバスに乗車するタイミングと重なることがあります。その際、ヒヤリとするケースが散見され、心配の声が寄せられています。安全確保のため、児童クラブへのお迎えの際には、校地内での徐行運転について十分な配慮をして頂きますよう、よろしくお願いいたします。

なお、朝の登校時、児童昇降口の開錠時刻は8時35分です。登校がそれに合うよう学校でも指導しますが、ご家庭におかれましてもご配慮のほどよろしくお願いいたします。

## お知らせ

今年度は柿田 康利教諭が初任者研修を受けます。そのため、原則毎週水曜日は大田市立静間小学校から天倉 篤子新採指導員（水曜日は本校の職員として勤務）が来校され、3年生教室に入って勤務されます。担任と一緒に子どもたちへの指導に当たられます。その他の曜日にも3年生が元気に生き生きと生活し、しっかりと力を伸ばせるよう、都野 朋子校内指導員中心に協力体制を整え、学校全体で支援していこうと思っております。ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

また、今年度のスクールカウンセラーは、槇坂 利栄子臨床心理士になります。中学校教員としての長い勤務経験をお持ちです。今後の勤務予定等は、後日お知らせしますので、相談したいことがありましたらお気軽に学校へご連絡ください。